福岡市議会議員〈南区〉

近藤さとみ

いきいき便り

Vol.20
2020
SPRING

＼イキイキ／豊かな「まちづくり」

発行者：福岡市議会議員　近藤里美　〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1　福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
TEL：092-711-4736　FAX：092-732-4055　E-mail：satomi-kondo@fukuokashimin.jp　URL　http://kondo-satomi.jp

＼「国保財政の安定化」に向け／基金を設置し、保険料の上げ幅を抑える

～令和2年度第1回定例議会　2月議会・議案質疑に立つ～

令和2年度第1回定例議会2月17日（月）～3月25日（水）が招集され、新年度予算案、条例案など、全113議案について審議しました。新型コロナウイルス感染症対策の影響を踏まえた会期短縮に伴い、当初予定していた質問は、次回以降に繰り延べることとしましたので、今号では2月議会で行った議案質疑を中心にご報告いたします。

○議案質疑：国民健康保険財政調整基金の設置について

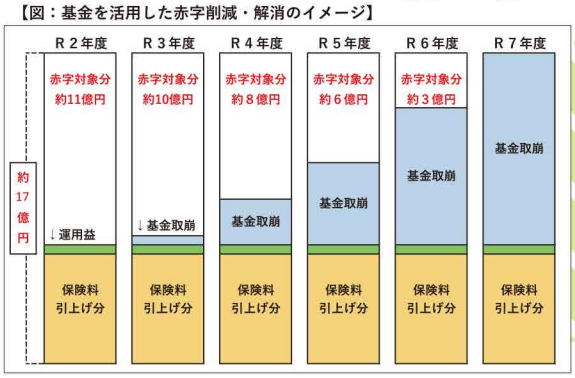
基金の設置と活用による財源確保

平成30年度国保特別会計の決算剰余金の一部を財源として基金を設置し、**約21億円**を積立てるという令和元年度の補正予算が提示されました。この積み立てを実施してもなお、国保特別会計の**令和元年度決算では若干の黒字を見込んでおり**、財政上の問題はないとのことでした。

平成30年度スタートした制度改正により、国保の実務的な運営は市町村、財政運営は県が役割を担うこととなりました。その際、国が財政支援を拡充するかわりに、これまで市町村が実施してきた保険料の負担緩和を目的とする一般会計からの繰入れは「赤字補填」と見做し、最長6年で削減・解消することとなりました。

福岡市が削減しなければならない**赤字相当分は年間約17億円**あり、**保険料の値上げを最小限に抑えつつ、基金とその運用益を活用して、この計画を遂行する**とのことでした。（図参照）今回積み立てた約21億円を、令和2年度の赤字補填に全額活用すると、令和3年度以降の保険料の上り幅が、初年度に保険料を上げる場合を大きく上回ることが見込まれましたので、我が会派としては、今回の提案に賛成したものです。

【図：基金を活用した赤字削減・解消のイメージ】



歳出を抑えるために私たちができること

歳入の確保を進める一方で、歳出の抑制、中でも医療費の是正は最重要課題です。年齢に関係なく、食生活や運動など、日頃から健康的な生活習慣を心がけ、特に40歳以上の方は、毎年、健康状態チェックのために特定健診を受診し、生活習慣病を予防していくことが大切です。また、不調の際は早期に治療し重症化を防ぐとともに、ジェネリック医薬品の使用や適正服薬に積極的に取り組むことが、医療費の是正につながります。一人ひとりの心がけで取り組んでいきましょう！

春の市政報告会を開催します！

ご案内

3月議会で議決した令和2年度予算案や特筆すべき事業内容など、ご報告いたします。所要時間はいずれも1時間の予定で、参加費は「無料」です。お待ちしております！

- 4月29日（水）13:30～「塩原公民館」2F地域団体室
- 5月27日（水）18:30～「アミカス」2F研修室B
- 6月 6 日（土）13:30～「三宅公民館」1F講堂

※なお、新型コロナウイルス対策のため、中止する場合があります。